

波紋

創刊 1985 年 (昭和 60 年) 7 月

2015 年 9 月
No. 363 号

中川金魚まつりに出陣致しました！！

7月25日（土）に、中川金魚まつりに森松武将隊もパレードに参加してきました！最近では外国の方の甲冑姿もよく見られるようになり、甲冑隊の規模も大きくなってきているように思います。

中川金魚まつりは今回で第60回目を迎えたお祭りで道いっばいに広がって行くパレードは迫力満点です。

また、金魚まつりの由来は、弥富の金魚業者と提携して当時は珍しかったランチュウを大きな水槽に入れて展示したことで「金魚」のイメージが定着していき、約40年前に金魚みこしが誕生し今のスタイルが作られたそうです。 伊東 義弥



文紙MESSE2015を振り返り

社長 森 直樹



て開る。8月6日、7日とマイドームでおおいさしに
 まで来た。開催が多柄夏休みのお子と商品が重
 ん見等。側からと出ま。に立。この商
 用意され。移動。ト。の。か。も。さ。際。な。と。商
 用。ス。マ。起。を。使。の。格。も。実。こ。つ。貴。を。使
 な。ク。行。と。基。本。的。の。か。も。さ。際。な。と。商
 や。真。の。移。行。と。起。を。使。の。格。も。さ。際。な。と。商
 や。真。の。移。行。と。起。を。使。の。格。も。さ。際。な。と。商
 す。側。ら。す。と。基。本。的。の。か。も。さ。際。な。と。商
 用。方。は。ほ。ら。す。と。基。本。的。の。か。も。さ。際。な。と。商
 を。想。定。し。た。展。示。居。の。そ。れ。に。関。連。し。て。使。わ。れ。る。場。面。
 マ。ツ。ト。の。展。示。居。の。そ。れ。に。関。連。し。て。使。わ。れ。る。場。面。
 た。反。応。が。得。ら。れ。た。の。で。は。な。い。と。思。い。ま。す。
 学。童。接。触。の。機。会。が。あ。り。ま。す。と。思。い。ま。す。
 さ。常。に。大。き。な。キ。ャ。ラ。ク。タ。の。展。示。を。考。え。ま。す。
 非。常。に。大。き。な。キ。ャ。ラ。ク。タ。の。展。示。を。考。え。ま。す。
 年。は。見。る。の。に。ま。わ。り。見。せ。方。を。考。え。ま。す。
 の。消。費。者。に。ま。わ。り。見。せ。方。を。考。え。ま。す。
 事。が。あ。り。ま。す。と。思。い。ま。す。
 と。伝。え。ら。れ。ま。す。と。思。い。ま。す。

変化について考える

牧野 光昌 (企画営業部)



激変の時代でもあり、多くの先輩上司は部下に「変化しろ!」と叱咤します。しかし、そう言われてもなかなか出来ない物です。『虫を怖がる子供に、怖がるな!』と叫んでいるようなものだ。』と表現する評論家の人もいます。でも、本当にそう簡単に変われ無いです。私の娘は大の虫嫌いで、成人してからも見るだけでも泣く位に嫌な程でした。その娘も嫁いで今や男の子3人の母親となつています。その娘の5歳の長男は大の昆虫好きです。セミやバッタを捕まえて来ては母親に怒られ、泣く泣く元の公園に逃がしてやりました。しかし今年の夏の夜に父親とカブトムシを探しに出かけ行き、大量に捕獲してきたカブトやクワガタを家族会議の末に飼う事になりました。虫嫌いの娘としてはしづぶだったようです。そして、その後トカゲまで捕まえて来て、なし崩しの様に飼う事になっていきました。霧吹きで湿気をあたえたり、エサのゼリーを与えたりが毎朝の世話です。トカゲのエサは20匹で100円のハエです。これまた昆虫です。しかしたまに朝の世話を忘れる長男に代ってカブトやトカゲの世話をいやいやながらするようになった娘でした。それは子供の事を考えた結果、自ら変化した娘の姿でしょう。このような場合の「変化」とは環境や考え方、興味や趣向、習慣などなどの多様性のある事象の「捉え方」を努力やテクニクや勉強ではなく、自分の気持ちの中のスイッチを切り替える事で変化させていく行為ではないでしょうか。ある日突然虫を見せられて「子供の為だ、好きになれ!」と言われたら、そうはならないでしょう。昆虫を見ながら一喜一憂する子供の姿を見て癒されていた自分がいる事に気付く事が出来たのだと思います。スイッチを入れる事でその先に訪れる好ましい未来を感じられた時に人は自らスイッチを入れるのだと思います。「変化しろ」と叱咤する事は必要です。言っている事は正しいからです。もしそこに「未来への好奇心」と「自発的な自覚」があったら、案外と人は簡単に変化できるのかもしれないなど、ふと感じた娘の姿でした。

異常気象

加藤 雅昭 (営業部)



今世界では異常気象がいろいろと起きていられると言われている。異常気象・・・これは本当に異常気象なのだろうか? 二酸化炭素の急激な増加?? 大気中の二酸化炭素の割合は0.04%。200年前は約0.02%。たしかに増加しているし、人工的な二酸化炭素増加量も増えている。上空に上がり対流圏界面では0.5は熱を赤外線にしたり、逆に赤外線を変換している非常に大切でもある物質です。また火山噴火、海や陸地でもCO2の吸収・排出が行なわれており、大きな意味でのカーボンニュートラルも起こっており、学者の説には2つに分かれて話されている。人間が排出する二酸化炭素の影響はあるのか? 数年前、おもしろい論文・計画書をネットで見つけた。そこには2010~2020年に向けての異常気象のことがかかれており注意勧告を促すものでした。また2020年以降太陽の黒点・フレアの変化により地球が氷河期に入ること示唆しています。それにより作物の生産量の減少による紛争が起きる可能性が高いとも書かれています。グリーンランドを調査したところ800年前に現在と非常に近い環境状態が発見されたと言っています。温暖化・異常気象・その後やってきた氷河期が到来することにより地球環境を激変させてしまったことを。これに向けてペンタゴンは危機管理を進めています。これが2009年イギリスの新聞社がスクープし問題になった「ペンタゴンレポート」の一部です。アメリカでは核戦争及び氷河期に対して巨大地下施設が数百箇所、それをつなぐ地下道及び地下鉄が完備されているそうです。また他の国も地下施設は建造されており、来る災害に対して準備がされています。人類(大きな意味で)が2足歩行を始めたのが約500万年前、人類が文化的? 生活の歴史を刻み始めたのは紀元前約5000年前のアンデス文明そして地球が誕生したのが46億年前・・・ここに本がある、400万ページの「本」、この最後のページ最後に書かれている「人類誕生・・・」人間が知りうるのはたったこれだけ。われわれは自然の中で生かされているということをもっと考えねばならないのではないだろうか。

